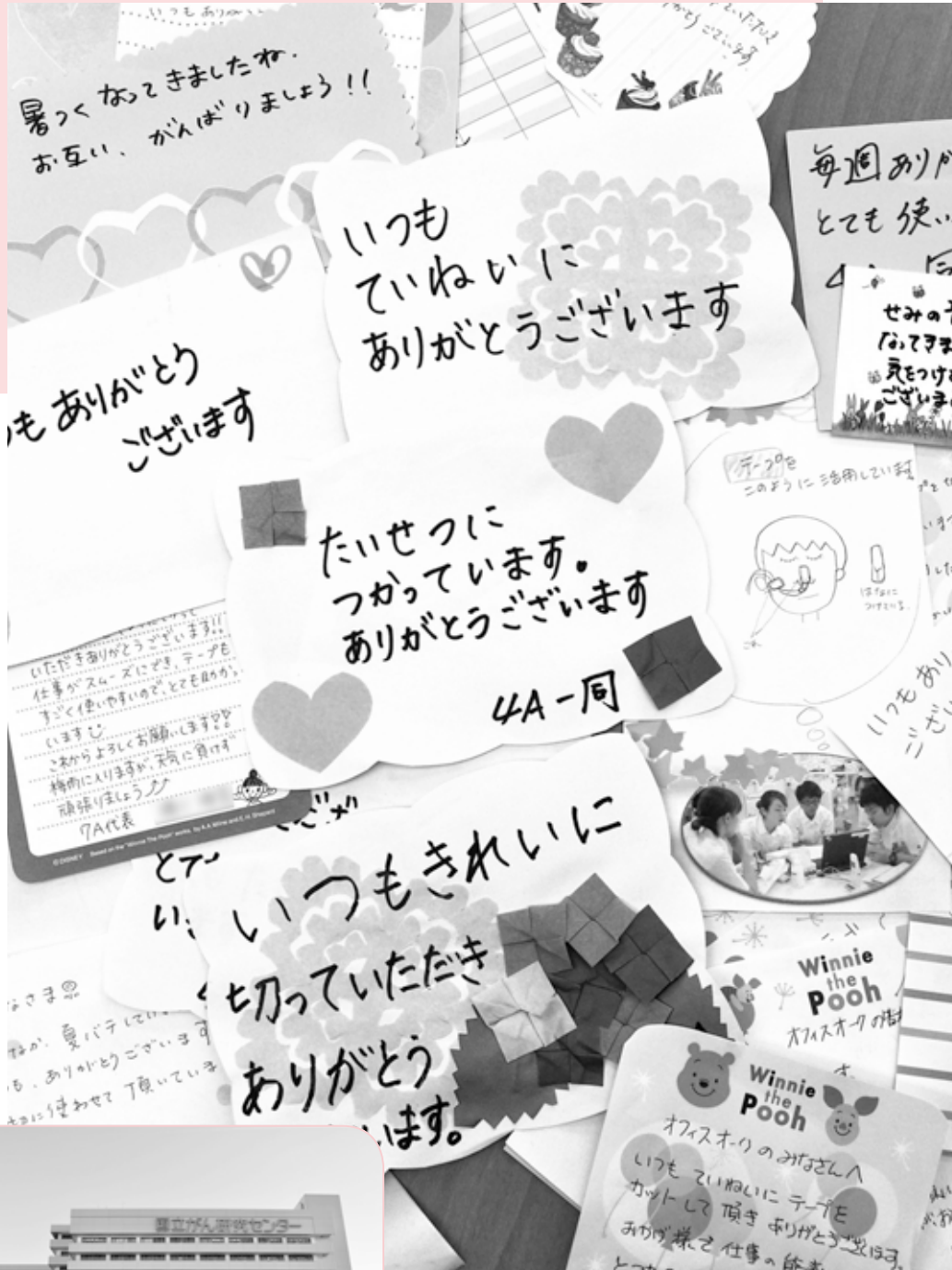


国立がん研究センター東病院で 先進的な取組み始まる!

職場
ルポ

—国立がん研究センター東病院—



(文)清原れい子 (写真) 小山博孝



国立がん研究センター中央病院

〒104-0045 東京都中央区築地5-1-1

国立がん研究センター東病院

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉6-5-1

TEL 04-7133-1111 <http://www.ncc.go.jp/jp/nccce/division/shogaishakoyo.html>



東病院内のオフィスオーケ

先端医療機関に知的障害者

国立がん研究センターは、がんに関する専門機関として設立され、今年1月に創立50周年を迎えた。東京築地に中央病院、千葉県柏市に東病院がある。同病院は日本を代表するがんの医療機関で、東病院では医療関連分野の業務で知的障害者の雇用が始まった。

2010（平成22）年、国立がん研究センターが厚生労働省の管轄から独立行政法人となったとき、厚生省に勤務し障害者雇用に詳しくかった依田晶男よだあきおさんが、中央病院の企画経営部長に就任した。

「国立がん研究センターは、先進的ながんの研究開発や医療を全国の医療機関に普及していくという役割を担っていて、医療スタッフの志とレベルが高い集団です。独立行政法人となったときの障害者雇用率は0・59%でした。医療機関は、障害者の雇用が難しいのではないかと思われているところがありますが、医療機関のなかでも先端的ながんセンターで障害者雇用に取り組めば、全国の病院に与える影響は大きいだろうと思いました。ただ簡単ではありませんでした」

依田さんはまず、障害者雇用推進のための体制作りを考えた。共通認識を持つるように、理事長の承認を得て、研究所長、看護部長など現場のトップの人たち



依田晶男さん

のプロジェクトチームを2010年9月に立ち上げた。また、人事部、総務部の人たちに知的障害者の仕事や暮らしを理解してもらうため、特例子会社やグループホームの見学などを実施した。

「雇用に向けて、一つひとつ対応していきました。本人・家族とのつながりだけでは気がかりでしたので、就労支援機関に登録していることを採用の条件にしました。また、不安に思っている職員もいましたから、説明会を開いて、雇用する立場の人に話してもらいました」

最初の業務に、中央病院ではメールサービスを選んだ。

「がんセンターは全国トップという意識が強いので、知的障害者を雇用したら必ず成功したいと考えました。そこでメールサービスを始め、名刺印刷、コピー用紙の搬送、郵便の発送業務など、事務部門の作業から職域を開拓しました。一方で、東病院では知的障害者を医療関連業務に従事させるという先駆的な試みが

考えられました」

2011年4月、中央病院で知的障害者の雇用が始まった。そして現在、障害者は、両病院合わせて24人（身体障害9人、精神障害2人、知的障害13人）。医療スタッフと事務スタッフなど職員は2457人だが、雇用率算定の基礎となるのは1737人（医療分野の除外率30%）で、雇用率は0・59%から2・19%に。

「この医療機関でも事務系のメールサービスなどの業務や、看護、医療現場のサポート的な業務があると思います。東病院で切り開いた医療関連業務は、中央病院でも取り入れ始めたところで、ほかの病院でも広めていくことができると思います。一番よかったのは、知的障害者たちが元気にあいさつしてくれることです。また医療スタッフは理解があるのですが、意外と知的障害者と身近に接したことがないので、いい経験になっていると思います」

知的障害者雇用の道を開いた依田さんは後任にバトンタッチ、次の職場へ異動した。

看護部から業務を

次に訪問した国立がん研究センター東病院は、つくばエクスプレス・柏の葉キヤンパス駅の近くにある。事務部長の外村正美むらまさはらさんに話を聞いた。

8:30	朝礼	ミーティング
9:00	外回りゴミ拾い	
9:30	水分補給	
10:00	ベッドメイキング	
10:30	水分補給	
11:00	シートカット業務	→ テープカット業
11:30	ネット業務	→ シートカット業務
12:00	休憩	
13:00	郵便物仕分け	常勤
13:30	郵便物仕分け	レジデント
14:00	水分補給	
14:30	アルコール綿切り離し	
15:00	注射針業務	
15:30	通院治療センター納品	在庫表
	後片付け	
	終礼	ミーティング 毎日の記録

1日のスケジュールが毎日張り出される

「東病院の知的障害者の雇用は、2011年6月にスタートしました。ジョブコーディネーターの方針で、病院業務に特化した看護師さんの補助的な業務を行っています。看護師さんたちが本来の業務に専念できるようにするのは病院のためでもあり、患者さんに接する時間がより多くなれば、サービス向上につながります。いまのところ、うまくまわっていません。病院の業務を同じ仲間としてやっていければと思います」

ジョブコーディネーターの長澤京子さんは、知的障害者の人たちが働く「オフィーストーク」の立上げ時に採用され、業務の開拓からすべてを任せられた。

「私にとって病院での仕事のイメージは、医師と看護師さんでした。当初から医療業務関係で、知的障害者を雇用できればと考えていました」

全国の病院を調べ、知的障害者が医療のどんな業務ができるかを模索したが、前例は見つからなかった。それならば東病院オリジナルの雇用をしようと考えたが、「どこもやっていないから無理だ」



注射針を1本ずつ切り離す

に2人を事務助手として雇いました。最初は、知的障害の人たちが医療現場の清潔さの水準を保てるかと心配さ



外村正美事務部長

という内外の反応も返ってきた。「それでも、障害者の職域拡大を理念に掲げました。各部署に『してほしい業務』を調査すると、いくらでも拳がりました。時間帯や分量が障害特性や採用計画に合うものを探しました。そのなかに看護部のシートとテープのカット業務があり、『これだ！』と思いました」

シート業務とは、点滴や採血をする際に患者の腕の下に敷く使い捨てのシートをカットして折りたたむ作業。テープカット業務は、点滴のチューブを固定するために、腕に貼るテープシールを決まった形にカットして箱詰めする作業。それらの業務の職場実習を行い、2011年

れた。「人は誰でも印象が大切です。鏡を設置して、自分がどう見えるか必ずセルフチェックするように促し、そのつど確認してもらいました。採用条件にも『清潔観念』を入れています。仕事自体は簡単なので、教えるのは難しくないので、作業現場の片付け方、手指の消毒方法など、仕事の準備性を教えるのは難しかったですね。清潔への要求水準が高いですから」

その後も、長澤さんは業務を広げることには注力した。その際、多忙な看護師の立場を考慮して、少し余裕のありそうな時間帯を選ぶなど工夫した。

「納品時にも、『これをやりたいです』、『こんな仕事はほかにないですか』と聞取りをしました。看護師さんたちは協力的で、いろいろ提案してくれました。アルコール綿・注射針の切り離し、患者さんが液体抗がん剤を入れて持ち運ぶための、ネット状の袋を折りたたむ仕事など、次々にいただくことができました」

また長澤さんは、組織としての段取りをきちんと踏むことを心がけた。

「看護部長や事務部長の承諾を得てから、副看護部長の教育担当の方と打合わせをして、看護師長会議にはかってもらってと、当然ながら組織の順を踏むことが大事です。立上げ時は障害者のアセスメントも大切ですが、それ以前に病院内

WORKSHOP REPORT



医療現場で毎日使用される絆創膏、アルコール綿など、さまざまなものを準備するなど病院らしい業務を開拓している



絆創膏を使いやすい大きさ、長さにカットする

の人の動きを理解すること、また医療従事者の仕事の流れを把握することが大事だと思います。看護部が受け入れてくれたおかげで信頼関係を構築できたと思いますが、ジョブコーチが常駐していることも円滑に進める鍵かもしれません」

全病棟から業務を受けたい

2年目の今年、2人を採用するための準備に昨年7月から取りかかった。

「どの病棟も多忙です。障害者が関わると負担が増すというところさえあると思います。障害者が周辺業務を担えば時間的余裕が生まれるはず。1年目は1つの病棟の仕事をしっかり行い受け入れてもらう、2年目は、どの病棟にもある業務を引き受けられればと考えました。東病院のなかで、この業務は障害者しかやっていないというものを作りたいのです。患者さんに関わり、障害者の地位が確立でき、看護師さんにもありたいといってもらえる毎日大量にある仕事はないかと探して、固定用絆創膏カ

ット業務に行きました」
固定用絆創膏は、身体に装着するチューブを押しやるために使う患者が多

く、全病棟で一定量が必要だ。用途によって形状が違うため、注文を受け、決められた大きさにカットし、部位に合わせてぴったり張れるようにさまざまな切込みを入れる。点滴や経管栄養のときにも必要で、その作業は看護師が夜勤業務などの合間に行っていた。

「絆創膏は縮んで劣化しますから、たくさんさんの作り置きはできません。1週間単位で届けています。直接、肌には張るので清潔が条件です。でも、消耗品なので絶対的完成度は必要ありません。逆にこのぐらいできていればOKという基準を示すのが難しく、ばらつきがあってもいいことを理解できない人は戸惑いまし



長澤京子ジョブコーチリーダー

た。そこで『きれいにカットする』と一定の水準を教えた後、『完璧な仕上がりの何%の実力を出せばよいですよ』と個々に伝えていきました。看護師のみなさんには自分たちで作るよりきれいで、負担が減ったと喜んでいただいています」
できれば、最初から合格点をもらった。副看護部長室で保管して、各病棟からの報告時に持ち帰るシステムも快諾してもらえた。

「受渡し的时候は、『相手に好感を持たれる雰囲気になっていきますか』とチェックしています。知的障害者は相手の気持ちを察するのが苦手といわれますが、いまの4名に限っていえばそんなことはありません。ドラマなどをよく見ていて、細かい情景もすべて読み取れています。『看護師さんが忙しそうなのに、のんびり対応していいですか?』と聞いてわからなかったときは、看護師さん役と本人役になってシチュエーション演技をしてもらいます。そうするとアツという気づきがあります。受渡しから在庫管理まで、障害者が担当しています」

そのほか、点滴台の点検もしている。「点滴台は障害者がきれいにしている」となれば、知的障害者のイメージアップができると考えた。2年目に入り、ほとんどの病棟とのかかわりを持つようになると雰囲気が変わってきた。

「医療従事者は障害について理解があ



点滴台をきれいにする
山添知樹さん



ネット袋を折りたたむ
荒木紀近さん



シートカットの作業をする
芝岡亜衣子さん

りますから、批判的な方はいませんでした。ただし、命を預かる現場は緊張感があり、障害の有無に関わらず責任のある態度が求められます。1年後に新人が入り、彼らも真剣に仕事をするのがわかると、より温かい雰囲気を感じられるようになりました。看護師さんたちも、彼らと接していて、『自分も頑張ろうと思った』、『癒された』といってくれます」

各病棟と受渡しをする袋に、「ありがとうメッセージ」が入ってくる。

「折り紙付きや写真付きのお礼メッセージもあります。うれしいですね。励みになります」

「仕事は楽しい やりがいがある」

1日のスケジュールは約30分刻み。看護部などの医療関連業務のほか、医局の当直室のベッドメーカーキングや郵便物の仕分け、外回りのゴミ拾いなど、さまざまな業務を1人でこなす。

「何年先も自立して働けるようにスケジュールを作成しています。自分の仕事としてやりがいとプライドを持てるよう、高齢になっても少し体力が落ちてきても大丈夫

夫なように組み立てています。新規業務を取り入れるときは本人に相談して、『やります』といったら追加しています。自分で選択することで仕事への責任感が生まれると思います」

4人は元気なあいさつで、私たちを迎えてくれた。ブルーの制服は中央病院と共通で、自分たちで管理している。

入社2年目の芝岡亜衣子さんが、シートカット業務を続けながら説明してくれた。

「これは、採血や点滴をするとき、台を汚さないために使うシートです。手を洗って消毒して、特殊なクロスでテーブルをふいてから作業をします。私は実習をして、ここで働いてみたいと思います。得意なのは、外回りのゴミ拾いとテープカットです。ダイヤモンドのように、中身と見た目も磨いていきたいです」という芝岡さんの趣味はライブを聞きに行くこと、ギター演奏と散歩。カメラも得意だそうだ。「最初のころに比べると、いきいきと美しくなりましたね」と長澤さん。

同じく2年目の荒木紀近のりちかさんが教えてくれる。

「これは、患者さんの抗がん剤の液体の薬を入れるためのネットの袋です。得意な仕事はベッドメーカーキングです。先生たちが寝るところですので、きれいにできているとうれしいと思います。1日に

いろいろな業務があるので、水分補給を挟んで、次の業務に集中できます」。荒木さんは、弟の結婚式で出かけたハワイが気に入ったらしい。「将来はハワイに住みたい。稼いだお金で、甥おこ子や姪めい子と映画を見に行ったり、誕生日やクリスマスにプレゼントをあげます」

「ここでは障害があっても関係なく自信が持てます。働くという気力が出てきました」と芝岡さん。「仕事はあつという間に終わってしまいます」と荒木さん。

「仕事は、楽しい」と2人は即答した。

続いて今年入社2人に聞いた。山添やまぞえ知樹ともきさんは、我孫子高等技術専門校を卒業したあと就職した。「最初は、自分は大丈夫かなと思いましたが、両親の説得で働きたいと思いました。学校ではパソコンを使った事務作業を勉強してきましたが、いまの仕事のほうが好きです。点滴台をきれいにするときやりがいを感じています。きれいにしたものをすぐ使ってほしい。ずっと働きたいです」

趣味は旅行だ。「働いたお金で切符を買って、1人で仙台や新潟と名古屋に行きました。青春18切符と新幹線で日帰りしています」

佐々木貴春さんは、自宅から自転車、電車、バスを使い、1時間かけて通勤している。「もう慣れました。ここは作業所で紹介されて、実習して楽しかったので就職したいと思いました。注射針の業

